

(第67号) 昭和25年2月25日

磐

城

日

タ

磐城日報

發行所 磐城日報社
電話(呼)二〇三八番
編集發行人 後藤幸夫
印 刷 人 丸山徳平
毎週水曜日休刊 一部購讀料
四円

小名濱新潟線道路に

失業者を大量に採用

その實現を飽迄期す

失業対策部會は昨二十三日午前十時より石城地方事務所會議室に於て約三十五名(樋口課長)出席本部長、部會長支部長等の挨拶があつて始まり、県職安課長(樋口課長)から今後の方針が示され、部會長平職安長(樋口課長)より失業対策に就ての具体的説明があり、一般討議に入つた。

(鈴木好間村長)現在迄失業者救済事業は三分の一が市町村負擔となつてゐるが之を廢し全額国庫負担として貰いたい。業者救済事業は三分の一が市町村負担となつてゐるやうだこの實現により約百万人の失業者を吸収することが可能だと思ふ。業とし産業振興の一翼にその抱負を語る。(某村長)來る三、四月に續出する失業者を如何に

有給は不可能

自由労組幹部陳情

して吸收すべきか、縣當局の意見を承りた。樋口課長:從來の四交替を全面的に廢止して二交替に切替え、失業保険給付所を元の配公廳舍に移転しして、もう務行政の事務簡素化を図られたいとの意見などをさう急に實現失業者とも出て三時過ぎ散會した。

湯本礦大火の搜索進展

常磐湯本礦選炭場の火災は、を全焼、裏山を少し焼いた。原因は子供の火遊びによるものらしく、三男勝夫さん(七)は逃げおくれたたまに頻死の重傷を負った。

某方面に活動

湯本礦大火の搜索進展

炭礦(組合員二百)では二十年に入つて二十四時間ストを断行したのは同礦が初めてである。金未拂の交渉欠裂があると開始したが既に同署に呼んだ數名の参考人から相當有力な證言を得たものゝ如く

鈴木炭礦(城)で

二十四時間スト断行

幹部改選

古河労組の

